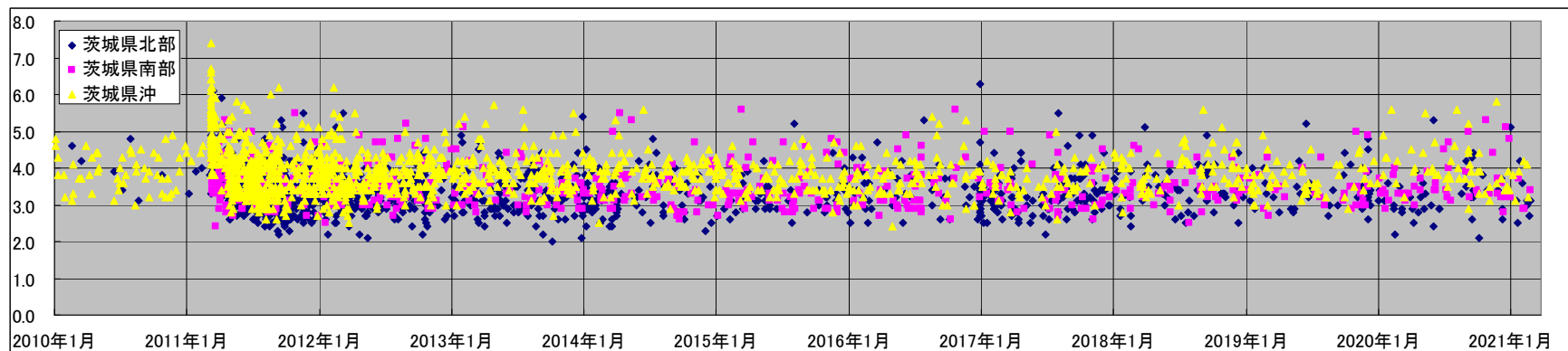


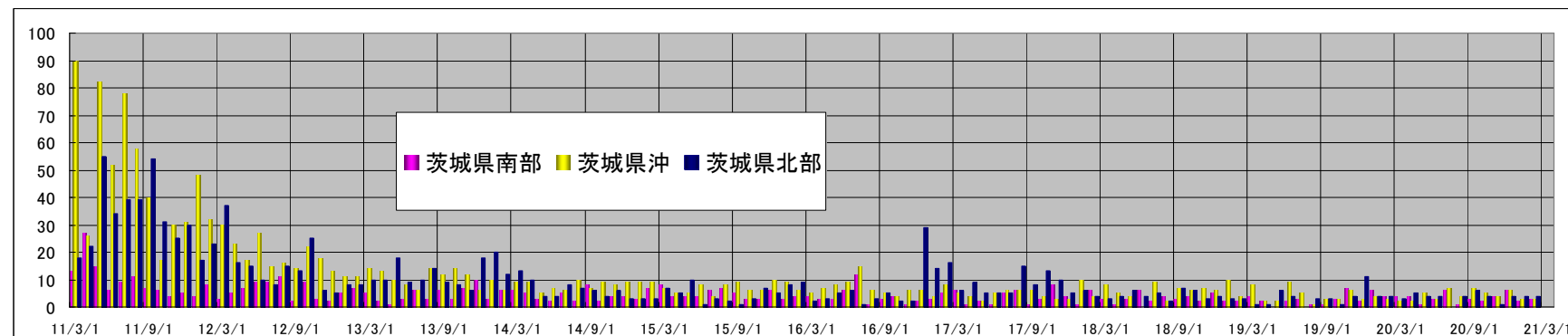
# 茨城県と茨城県沖を震源とする地震

作成 2021/03/06



注 1. 本資料は気象庁が発表しているデータを基に作成したグラフです。なお、震源域とした茨城県沖の定義については調査していません。

注 2. 縦軸はマグニチュード、横軸は日付で 2010 年 1 月 4 日を起点としましたが、この日の選定には意味がありません。



注 3. このグラフは 2011 年 3.11 以降の月ごとの地震発生回数を表しています。縦軸は一ヶ月の地震発生回数の単なる総和です。

東日本大震災から 10 年が経ちました。地震の回数は減少していますが、先月 2 月 13 日には福島県沖でマグニチュード 7.3 という死者も出る大きな地震が発生しました。これについては別枠で福島県沖地震と 2011 年の茨城県沖地震との比較というレポートをアップしています。前回のこのレポートでは「茨城県沖の地震の深さが 50 km 付近に集中してきた」と書きましたが、2 月 13 日の福島の地震の深さは 55 km でした。さて、最近の傾向としましては、これまでの茨城県北部の深さ 10 km で発生していた地震は少数だがその深さが 80 km ~ 50 km と深くなってきています。